

未来への責任を果たすために! まつばら和生市政報告



4月24日(日)は
岐阜市議会議員選挙の投票日です。
大切な一票を無駄にすることのないよう投票へ出かけましょう。

※期日前投票が簡単になりました。
・岐阜市役所1階ホール
18日(月)～23日(土)の午前8時30分～午後8時
・各コミュニティセンター・柳津事務所
18日(月)～22日(金)の午前9時～午後6時

この度の、東日本大震災の被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

【平成23年3月 議会報告】

▼3月議会の会期中、3月11日午後発生した、東日本大震災の被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

岐阜市では直ちに「緊急支援本部」を立ち上げ、消防本部・上下水道事業部・市民病院・健康部(保健所)・環境事業部(ごみ収集)から職員や医師を派遣し、救護・給水・医療・廃棄物処理等の支援業務にあたる他、まちづくり推進部(建物の危険度の判定)等も出動に向けて待機しています。また、非常食・飲料水・紙おむつ・生理用品等々の緊急支援物資を、現地の要請に合わせて被災地に送り届けています。市役所本庁舎をはじめ各出先事務所には義援金箱を設置し、日本赤十字社を通じて被災者の支援に充てます。また、被災者に市営住宅の提供を行うこととしました。そして、今回の震災が原因(東日本に取引先がある等)で事業に支障をきたす市内中小企業者のために、市の融資制度の経営環境変動対策資金の対象を拡大しました。被災地の一日も早い復興を願い、私も本会議一般質問の冒頭、お見舞いの言葉を捧げるとともに、市の支援体制の強化を要望しました。

▼3月議会で審議・審査された主な議案は以下の通りです。

- 一般会計予算(1535億円=3.7%増、生活保護費と子どもに対する扶助的経費の増などにより過去最大規模、市税は3年ぶりの増加を見込む、教育と健康に力点、岐阜大学医学部等跡地・うかい広場施設・岐阜公園再整備等の事業が進行)、特別会計予算(国民健康保険・介護保険・競輪など13会計で1022億円=7.4%増)、企業会計予算(病院、上下水道など4会計で443億円=2.9%減)の当初予算関係18議案、総額3000億円(3.9%増)。
- 財政調整基金など4基金への積み増し、震災による部品の納入遅れによる年度の繰越し等、補正予算関係5議案。

- 選挙管理委員会委員など一部行政委員の報酬を月額制から日当制へ改正する条例制定など、条例関係16議案。
- 監査委員の選任同意、包括外部監査契約の締結など、その他18議案。請願1件。
- ▼松原和生は、3月議会の一般質問に登壇し、以下の5項目について市の姿勢を糺しました。
- 生涯学習、市民参画を支える仕組みについて(成原副市長)
生涯学習の一層の充実を目指し、教育委員会の社会教育部門と市民参画部の生涯学習・文化・市民活動部門を合わせ一体的に取り組む体制が効果的だと、他都市の事例を紹介しながら組織再編を提言しました。
- 岐阜大学医学部等跡地の周辺整備について(武政副市長)
岐阜大学医学部等跡地の整備計画に賛同しながら、これを当初の目的であった中心市街地の活性化に寄与するものとするために、柳ヶ瀬等との距離感を解消する工夫が必要不可欠として対応策を求めました。
- 金華地区の歴史を活かしたまちづくりに関して(理事兼都市建設部長・教育長・まちづくり推進部長・財政部長)
岐阜公園再整備計画の概要と進捗、ぎふ景観まちづくりファンドの効果と今後の進め方、長良川流域の文化的景観を国に申請する取り組み他を確認し、地域住民の思いを反映しながら進めるよう要望しました。
- 連節バスの運行とBRT計画の推進について(企画部長)
利便性の高いバス交通の実現を目指し、段階的なBRT(バス・ラピッド・トランジット)化を推進する計画を評価。そのシンボルである連節バスの長良橋通りや市内ループ線の展開に向けた課題を整理しました。
- 統一地方選挙における開票の迅速化について(選挙管理委員会委員長)
昨年の参議院議員選挙と4年前の市議会議員選挙の開票の遅れを指摘し「開票の迅速化ができる都市であるかどうかは、行政改革ができる都市であるかどうかにか比例する」という識者の言葉を示して努力を求めました。

議員活動の記録(平成19年～23年)

本会議の質問

平成23年3月議会(一般質問)

- ・生涯学習、市民参画を支える仕組みについて
- ・岐阜大学医学部等跡地の周辺整備について
- ・金華地区の歴史を活かしたまちづくりに関連して
- ・連節バスの運行とBRT計画の推進について
- ・統一地方選挙における開票の迅速化について

平成22年11月議会(一般質問)

- ・合併特例債の活用状況と今後の事業計画について
- ・公費で発生するプレミアムポイント等の管理について
- ・ゼロ予算事業の取り組みについて
- ・岐阜市中央卸売市場の運営について

平成22年9月議会(代表質問)

- ・岐阜市販事業仕分けについて
- ・新市庁舎建設について
- ・小中学校の猛暑対策について
- ・介護保険制度の課題について
- ・個人情報保護への過剰反応について
- ・金華地区の観光資源としての整備に関して

平成22年6月議会(一般質問)

- ・岐阜と信長を結びつける濃姫について
- ・市街地に出没するイノシシ対策について
- ・学校における遊具の設置基準について
- ・金華山の林野火災について
- ・住宅用火災警報器の設置義務化について
- ・小規模共同調理場方式(学校給食)について

平成21年11月議会(代表質問)

- ・民主党連立政権への期待と影響について
- ・細江市長「4年間の約束」の検証と今後の取り組みについて
- ・新型インフルエンザと学校運営について
- ・観光拠点としての岐阜公園整備について
- ・岐阜大学医学部等跡地利用計画について
- ・職員定数スリム化指針の進捗と来年度以降の方針について

平成21年9月議会(一般質問)

- ・決算認定の早期化に伴う監査方法の変更について
- ・自治振興宝くじの収益について
- ・投票済証の発行について

- ・木製遊具の今後について
- ・県の少年自然の家の閉鎖について

平成21年3月議会(代表質問)

- ・財政運営(歳入)について
- ・市岐商の学校法人立命館への移管について
- ・建築確認審査の長期化による影響について
- ・公共建築工事スケジュールの遅れに関して
- ・子ども医療費助成制度の拡大について
- ・職員の勤務時間短縮による業務への影響について
- ・再度の市町村合併について

平成20年9月議会(一般質問)

- ・納涼台のこれからについて
- ・65歳雇用時代の人事について
- ・岐阜市総合計画の展開について
- ・東海北陸自動車道全通の効果について
- ・信長の時代を語る岐阜公園について

平成20年3月議会(一般質問)

- ・子ども医療費助成制度の拡大について
- ・個人情報保護法への過剰反応について
- ・学校給食の運営について
- ・木曾川水系連絡導水路計画について
- ・岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想に関連して
- ・金華地区景観まちづくりアンケート調査結果について

平成19年9月議会(代表質問)

- ・岐阜市総合計画基本計画策定に関連して
- ・産業廃棄物不法投棄事案の対応について
- ・後期高齢者医療制度について
- ・岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想について
- ・電算のシステム障害について
- ・岐阜市中心市街地活性化基本計画について

平成19年6月議会(一般質問)

- ・副市長の役割について
- ・開票事務の迅速化について
- ・歴史的建造物の保全について
- ・金華地区景観形成ガイドラインについて
- ・市営住宅の今後の展開について
- ・学校給食のあり方について

※詳細は、松原和生ホームページまたは、岐阜市議会ホームページをご覧ください。岐阜市議会ホームページでは、全ての質問をいつでも録画ビデオで見ることができます。

議会での役割

平成22年5月～

- ・常任委員会 産業委員会(商工観光部、農林部、農業委員会の所管に属する事項を担当)委員長
- ・特別委員会 総合交通対策特別委員会
- ・その他 市岐商問題対策特別委員会
- ・その他 議会運営委員会

平成21年5月～

- ・常任委員会 厚生委員会(市民生活部、福祉部、健康部、自然共生部、環境事業部、市民病院の所管に属する事項を担当)
- ・特別委員会 総合交通対策特別委員会
- ・その他 市岐商問題対策特別委員会
- ・その他 議会運営委員会

平成20年5月～

- ・常任委員会 建設委員会(まちづくり推進部、都市建設部、基盤整備部、上下水道事業部の所管に属する事項を担当)
- ・特別委員会 都市活性化対策特別委員会
- ・その他 公営企業経営審議会

平成19年5月～

- ・常任委員会 総務委員会(市長公室、企画部、経営管理部、行政管理部、工事検査室、柳津地域振興事務所、都市防災部、消防本部、会計総室、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属さない事項を担当)
- ・特別委員会 都市活性化対策特別委員会
- ・その他 議会運営委員会副委員長
- ・その他 岐阜市総合計画審議会

○常任委員会は、総務、産業、厚生、建設、文教の5委員会。

○特別委員会は、その時々の問題を検討する委員会で議決により設置する。現在は5委員会が設置され、申し合わせで任期は2年。

○ 議会改革の取り組み (2011年新春号)

平成22年9月議会、「議員定数40人以下への削減を求める請願」の紹介議員になりました。継続審査(事実上の先送り)となりましたが、市議会を突き動かすきっかけの一つとなり、全員参加による議会改革検討協議会がスタートしました。各会派代表による世話人会を舞台に11月議会最終まで続いた白熱した議論の末、議員定数は3人削減の41人で歩み寄り、半歩前進となりました。議員報酬は月3万円減額、政務調査費は月3万円減額、費用弁償(一回5千円)は廃止となり、期末手当0.2ヶ月減も合わせると、議員一人年間126万円余の減額となります。更なる削減の議論は改選後へと持ち越されました。今後は、本当の意味での議会改革というべき議員の資質向上や政策立案能力の強化、チェック機能の充実等、市民の期待に応える議会を構築する面からの改革を進めなければなりません。まず、4月に信頼できる議員をしっかりと選んでいただくことが、議会改革の大きな一歩です。



※昨年、所属する全国若手市議会議員の会の有志(私も署名)で、総務省に対して特権的と言われる議員年金制度の廃止を要望しました。こうした動きを受けて、今は議員年金制度を廃止(法改正が必要)する方向へと向かっています。既受給者には給付を継続することや払い込んだ掛け金の返還割合など、国で具体的な条件の詰め作業に入っている最中とのことです。

○ 「岐阜中央中学校」が開校 (2011年新春号)

長良川北側地域への通学を解消するため、平成24年4月、旧京町小学校跡地と旧県立盲学校跡地を合わせた敷地に、岐阜小学校(旧金華小・旧京町小)、明德小学校、本郷小学校の校区の生徒が通学する中学校を建設・開校します。名前は岐阜中央中学校とすることが決まりました。同時に、現在の明郷中学校の校舎を利用して、則武小学校と早田小学校の校区の生徒が通学する岐阜清流中学校が開校します(従来、則武小学校の卒業生は、伊奈波中学校と島中学校に分かれて進学していましたが、全て岐阜清流中学校に通学します)。この再編に伴い、伊奈波中学校と明郷中学校は廃止されます。尚、伊奈波中学校の敷地は、所有者の県に返還することとなりました。県では、将来的に隣接する県立の養護学校の拡大や、一部は県立岐阜商業高校の敷地への転用を想定しているようです。現在、旧京町小学校では校舎、体育館、プール等の解体が終わり、建設工事の工程に入っています。校歌や校章の作成、学校運営上の事前の調整なども進みつつあります。私も岐阜中央中学校設置準備委員会と同委員会の基本計画部会、PTA部会、学校運営部会の委員を務めており、しっかりしたスタートが切れるように努力してまいります。

※同じ、平成24年4月には、明德小学校と本郷小学校が統合し、明郷小学校(本郷小学校の校舎を使用)となることも決まっています。



「岐阜中央中学校」完成予想図

○ 岐阜大学医学部等跡地整備計画 (2010年夏号)

建設委員会からは、岐阜大学医学部(大学病院)等跡地整備計画です。議会でも繰り返し質問のテーマとされ、中心市街地に人が集まる、賑わいを創出することを大前提に検討されてきました。県から申し出があり、隣接する県総合庁舎敷地も取得する方向となっています。そして、昨年、「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」が、パブリックコメントでの市民意見の募集を経て決定されました。計画では3期に分けて整備することとし、まず第1期整備施設として、敷地の北側に市立図書館本館を中心に、市民活動交流センターとの複合施設を整備します。第2期整備施設の想定としては、敷地の南側に、老朽化が進み機能も分散する市役所庁舎の移設を検討していきます。また、第3期整備施設の想定では、老朽化した市民会館の代替施設を市役所本庁舎跡地に検討するとしていますが、これは先の計画(10年~15年先)であり、社会情勢の変化も睨みつつ考えていくこととしています。まずは、第2期までの施設整備について、地域の声をしっかりと聞く中で、地元の重点課題として取り組んでまいります。

※2月に市民公開(1000人超が来場)の選考会で選ばれた世界的建築家の伊東豊雄氏が設計者と決まり、「つかさのまち」夢プロジェクトとして、4月から第1期整備の具体化に着手していきます。



伊東豊雄氏の設計イメージ図

○ 立命館誘致が否決 (2010年新春号)

平成21年3月議会の最終日、立命館誘致関連予算と立命館誘致決議案が、21対22のわずか1票差で否決されました。採決に参加できない議長は誘致派であり、誠に惜しく残念な結果です。この間、私自身の政治活動、直接に民意を問うための細江市長の出直し選挙(無投票再選)、市民団体(子どもたちの未来を考える市民の会他)との連携の中で、しがらみの無い大多数の市民の賛意を肌で感じてきただけに、ご期待をいただいた皆様申し訳なく、力不足をお詫び申し上げます。

改革には、旧来の体制に居心地が良かった勢力の抵抗がつきものですが、これからは岐阜市の未来のために変わる勇気を持ちながら、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、2月の市長選挙(※平成22年=細江茂光氏再選)では、誘致に反対した市議らが揃って支持する対立候補に、どうしても負けるわけにはいきません。





岐阜市議会議員
まつばら和生

岐阜への責任を果たすために!

いつもお電話におかけありがとうございます。岐阜市の発展に力をおこす一歩を踏み出したいと考えています。皆様のご意見やご要望は、ぜひお電話でお話しください。

携帯電話用サイトを開設しました。バーコードリーダー機能から是非お試しください。

<http://www.matsubara-kazuo.jp>

松原和生ホームページに、たくさんのアクセスを頂戴し有り難うございます。この紙面で伝えきれない数多くの情報を掲載していますので、是非ご覧いただきたく存じます。メールからのご意見等もお待ちしています。

3党派11人で構成「岐阜改の会」

他会派は懸念「さらに溝が深まる」

「岐阜改の会」の発足会見に出席し、「政治理念が一致する」と応援理由を述べる細江市長(左)と松原和生議員(右)。

岐阜市議会 親市長派が超党派グループ

岐阜市議会で細江茂光市長の施政方針を支持する三党派の議員十一人が十一日、超党派のグループ「岐阜改の会」を旗揚げした。四月の市議選(定数四一)で、議会の情報公開を進める条例の制定や、定数三五への削減を掲げ、争点にしたい考え。細江市長は会の「応援団長」に就き、他会派は「市長派とそれ以外を色分けしたいだけ。さらに溝が深まる」と懸念する。

十一人は市政自民党議員団(自民団)、民進党、市民の応援も募る。細江市長が応援団長に就くこと、議会のチェック機能が弱体化する恐れについては「是々非々でいく。心配されることはみじんもない」と強調した。会見に出席した細江市長は「全国に地域政党と呼ばれる団体があり、首長が中心になる例もあるが、法の趣旨は二元代表。その点で問題がないとは言えない」と懸念。その上で「議員になり自分の目で見てから判断する気概を持ってほしい」とけん制した。(森村陽子)

平成23年3月12日(中日新聞)

私の思い



3月議会の途中、岐阜市議会内で立命館誘致に取り組んだメンバーが中心となって、超党派の新政策集団「岐阜 改の会」を立ち上げました。

近年、名古屋市をはじめ全国各地で地方議会を見直す動きが広まっています。私は、混迷する社会の中で、今の市政に必要なものは、保守か革新かでは無く、現状か未来かの選択、前例や党派を超えた決断であると思っています。「我ら、改革推進派」「改革を止めるな」を合言葉に、立命館誘致活動以来の結束で、抵抗に立ち向かう市長を再選させることが出来ました。市職員の意識改革も進みつつあります。今度は議会が変わらなくてはなりません。

「岐阜 改の会」は、議会改革、行財政改革、役所体質の改善を、情熱と変わる勇気を持って推進し、教育、福祉、経済、都市計画…、皆さんの願いを叶えるため、市民が主役であるというあたりまえのことを常に基本に置きながら取り組んでまいります。

私も、「46歳の若さ」に「3期12年の経験」をプラスして、今こそ、新しい時代の市政運営を先頭に立ってリードしていきたいと思っています。

未来への責任を果たすために一層の努力を重ねてまいりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

プロフィール

- 昭和39年 12月、岐阜市生まれ 山羊座・B型・たつ年
- 昭和58年 岐阜教育大学附属高等学校を卒業
- 昭和62年 愛知大学法経学部法学科を卒業
- 昭和62年 名古屋鉄道株式会社に入社
営業推進部リーダー、岐阜支配人室係長
- 平成11年 岐阜市議会議員に初当選(34歳)
- 平成15年 岐阜市議会議員に2期目当選(38歳)
- 平成19年 岐阜市議会議員に3期目当選(42歳)
この間、市監査委員、建設委員、産業委員長
全ての常任委員会委員等を歴任

- 地域にて**
- 岐阜市立岐阜小学校PTA会長
 - 金華自治会連合会相談役
 - 金華体育振興会相談役
 - 岐阜市中消防団金華分団班長
 - 岐阜スポーツ少年団野球部コーチ
 - 東海若手市議会議員の会副会長
 - 名鉄労連岐阜地域協議会相談役
 - 愛知大学同窓会岐阜支部相談役
 - 民主党岐阜1区総支部副幹事長 他
- 資格**
- 教員免許 高校・中学(社会)
 - 総合旅行業務取扱管理者
- 家族**
- 妻と長男(伊奈波中学校)・二男(岐阜小学校)の4人家族

岐阜市末広町12番地9 〒500-8042
TEL(058)264-4853 FAX(058)264-4800

●市政へのご意見…ご相談…
お気軽にご連絡ください。

■E-mail info@matsubara-kazuo.jp ■http://www.matsubara-kazuo.jp